

南山大学広報誌

# NANZAN bulletin

vol.170  
2009.9.30



# NANZAN UNIVERSITY

〈表紙:2009年度オープンキャンパス〉

# 私の研究



すずき たつや  
外国語学部英米学科 教授

専攻分野は「英語学」「言語学」。  
長期研究テーマは「生成文法による英語統語論研究」。  
短期研究テーマは「英語名詞句の構造、英語動名詞の構造、統語連鎖、V/P移動の統語分析、虚辞動詞の分析」。  
主な担当科目は「言語研究の基礎(文法論)」。

## ハイブリッドは車だけじゃない！ ～英語動名詞への挑戦

鈴木 達也

私は生成文法理論という20世紀半ばにアメリカで誕生した理論言語学の枠組みで主に英語の文法を研究しています。その中でも特に興味を抱いているのが動名詞の構造についてで、博士論文(University of Washington, 1988年)のタイトルは、The Structure of English Gerunds. 文字通り「英語動名詞の構造」の研究となっています。

動名詞というのは動詞に-ingという語尾が付いて名詞のような性質を帯びるものですが、その名が示すとおり、名詞と動詞の両方の性質を併せ持つハイブリッドな構文です。動名詞には、より名詞に近い「名詞的動名詞」と反対に動詞にとても近い「動詞的動名詞」という二種類がありますが、私が特に興味をひかれるのは後者の「動詞的動名詞」の方です。

20年ほど前、アメリカで「限定詞句の仮説」という画期的な分析が提案された際、私もすぐにこの最新の理論を取り入れて博士論文を執筆しました。この仮説のもとで分析すれば、内面的には動詞的でありながら外面的には名詞的であるという動詞的動名詞のハイブリッド的な特性も自然な説明が可

能になるように思えたからです。

しかしながら、歴史的な考察も視野に入れ、初期近代英語の頃の動名詞にまで研究を広げてみると、新たな問題が生じてきました。現代の動名詞ではあり得ないような、もっと名詞と動詞の特徴を複雑に併せ持っている動名詞が存在していたからです。現在特に興味を持って研究しているのは、この初期近代英語の謎めいたハイブリッド動名詞です。

数年前、ケンブリッジ大学でこの初期近代英語の動名詞について研究発表する機会があり、その際、ケンブリッジ大学の教授とも動名詞研究の現状について話しましたが、結局二人とも「動名詞は難しくよく分からない」という結論になってしまったことを思い出します。21世紀のハイブリッドの研究は、車だけではないのです。



Suzzallo & Allen Libraries  
(University of Washington)

# 私のクラス



かわの ひろゆき  
情報理工学部  
ソフトウェア工学科 教授

専攻分野は「情報システム」。  
長期研究テーマは「情報システム」。  
短期研究テーマは「知的情報検索、フィルタリングシステム」。  
主な担当科目は「データベース」「通信理論」。

## 情報化社会のインフラストラクチャー

河野 浩之

2009年4月、情報理工学部の3学科「ソフトウェア工学科、システム創成工学科、情報システム数理学科」がスタートしました。今回は、ソフトウェア工学科の学科科目として担当している「データベース」の授業内容を簡単に紹介します。データベースは、情報化社会の基盤となるソフトウェアとして重要な役割を果たしており、さまざまな情報システムのシステムプラットフォームとして不可欠なミドルウェアとなっています。例えば、ウェブサーバに蓄積された大量データを効率よく探す検索エンジンでも活躍しています。

授業は、学部共通の基礎知識である計算機アーキテクチャやデータ構造などを発展させながら、データベースのスキーマ設計やトランザクション処理に関する理論、SQL (Structured Query Language) と呼ばれる

データベース操作言語などについて学びます。特に、1970年代から研究が行われ、1980年代の標準化、1990年代の市場競争を経て、



広く普及している関係データベース管理システムに焦点を当てています。

教科書以外に、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)が国家試験として実施している「データベーススペシャリスト試験」に出題された問題を取り上げることで、高度情報処理技術者として求められるレベルを具体的に意識して貰うようにしています。さらに、限られた時間で解答する問題とは違った課題として、データベースを使いこなす開発環境に触れることのできるレポート作成に取り組んで貰っています。

また、入学時に学生に貸与されるノートPCにインストールされているオープンソースのデータベース管理システム(RDBMS)であるPostgreSQLを用いた実習の授業内容とも関連させることで、RDBMSの動作の仕組みを実感できるようにしています。将来、より良い情報化社会を築く基本的スキルのひとつとして、学生の皆さんに、しっかり身につけて貰いたいと思っています。

## アメリカ研究センター・外国語学部主催シンポジウム 「オバマ政権はアメリカと世界を“Change”できるか？」



6月19日、名古屋キャンパスにおいて、アメリカのオバマ政権の可能性を探るシンポジウムが開催された。このシンポジウムでは、マックス・カク氏(名古屋米国領事館首席領事)、久保文明氏(東京大学法学部教授)、石田訓夫氏(南山大学外国語学部客員教授)の3名をパネリストに招き、アメリカの内政、外交政策、人種民族の関係、日米関係などについて議論が展開された。

また、議論の後には、外国語学部英米学科の学生が代表質問に立ち、「オバマ政権になって本当にChangeしているのか?他人のChangeを真

似しているだけではないのか?」「なぜアメリカは問題解決のために軍事行動を繰り返すのか?」など鋭い質問がなされた。

本学英米学科では3年次より様々な学問領域を学びながらアメリカやイギリスの地域をより深く研究するプログラムがスタートする。今回代表質問に立った学生たちも、日頃よりアメリカ政治やアメリカ外交、人種をテーマに研究を進めており、今回のシンポジウムを通じて得た専門家の生の情報、意見は彼らに大きな刺激を与えたことだろう。



### 西川康平さん (外国語学部英米学科3年)

我々川島ゼミは、川島正樹教授の指導のもと、アメリカの歴史を通じてアメリカを中心とする「人種」について研究しており、特に今年は「移民」をキーワードに研究を進めています。

今回のシンポジウムでは「現在の金融恐慌によって新たに差別が引き起こされる可能性」について質問させていただきました。各先生のお話の中で、「金融恐慌」が非常に大きなキーワードとなっており、様々な側面からのお答えをいただくことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。その中でも「アメリカにおける人種差別撤廃への動きは確実に進んでいる。私自身が証明である。」という在名古

屋米国領事館首席領事であるマックス・カク先生のお言葉が非常に印象的でした。

普段、本の上だけで行われていた勉強が、こうやって実際に体感できたことも、このシンポジウムにおいて得られた大きな経験の一つだと思います。これから、僕たちのゼミの大きな目標である名古屋国際関係合同ゼミナールに向けての準備を進めていくにあたって、このシンポジウムで得た経験や知識を大いに活かしていきたいと考えています。



### 上杉 都さん (外国語学部英米学科3年)

英米学科では3年次から専門分野をより深く追求するための授業、ゼミが始まり、私が所属している山岸敬和ゼミでは「アメリカ政治」をメインテーマとして、大統領制、利益集団、社会保障など様々な角度から日々研究しています。今回のシンポジウムが山岸ゼミを中心として開催されるにあたり、約3週間前から3、4年生が合同で準備を進めてきました。この期間に資料集めや考察、そしてディスカッションを幾度も行い、時には同期や先輩から鋭い意見をもら



いながら自分の質問を仕上げました。本番では、専門家の方から核心のついた指摘だったとの所感をもらうことができ、ゼミ生が一同となって妥協することなく話し合った甲斐があったと改めて感じました。

今回のシンポジウムは、アメリカ政治の知識をさらに深めるだけではなく、代表質問者として大勢の聴衆の前で発言するという貴重な機会と経験を与えてくれました。今後はこの経験を活かして、アメリカという枠にとらわれず新しい日本の政治にも目を向け、政策の違いや影響力について研究を進めながら、11月に行われる名城大学との合同ディベート大会に臨むつもりです。

### 水谷健吾さん (外国語学部英米学科3年)

私は、高校時代から国際関係に興味があり、今は英米学科で国際関係・アメリカ外交を専門に勉強しています。そんな折、大学でアメリカ政治についてのシンポジウムが開かれることになり、今回藤本ゼミを代表して専門家の方々へ質問する機会をいただきました。日頃、ゼミの仲間たちとの議論やプレゼンを通じて出てきたアメリカ外交の矛盾や疑問を尋ねられる良い機会だったので、発表の日まで何度も何度も藤本博教授や仲間たちと発表原稿を練りました。シンポジウムを終え、私は大きなことを学びました。今回シンポジウムで専門家の方々

の考えを聞いたのですが、彼らの考えは今まで大学の講義や文献などを通して学んだ知識とは異なり、私にとってとても新鮮なものでした。世の中には様々な考え方があることを実感しました。私は3年生になり広い視野で物事を考えられるようになったと思っていました。今回のシンポジウムを通じて改めて自分が見ることができていた視野の範囲に気づき、現在の価値観にとらわれずに大きな視野を持つ必要性を学ぶことができました。



## 南山のDNA DNA DNA DNA DNA

### 焦りから始まった夢の探求

鵜飼優梨子

法学部法律学科 2006年卒業

南山中学から高校、大学と10年間南山生として過ごす。大学3年春から司法書士の勉強を始め、大学卒業の年に合格。現在、名古屋の司法書士事務所勤務中。近々司法書士として登録予定。



各方面で活躍する本学卒業生をリレー形式で紹介していくプレティン版「南山のDNA」シリーズ、第6回となる今回は、司法書士事務所に勤務されている鵜飼優梨子さんです。

弁護士、公認会計士、税理士…色々な資格が世の中にあるなかで“司法書士”という資格はマイナーな存在だと思えます。大学生で司法書士の仕事について知っている人はあまりいないのではないのでしょうか。

大学2年生の夏、私は焦りを感じていました。将来について特に何も考えずに過ごしていた私。でも、この頃に周りの友人は将来進むべき道を真剣に考えていることを知りました。成績、部活、サークル、検定、資格、留学…大学1年のときから就職のことを視野に入れてみんな行動していたんです。私が就職活動の際、誇れるものは??ふと考えてみると「誰よりもバイトしていた!!」いやいや、それではどこの会社にもとってはもらえません。また、会社とおおまかにいっても、どの分野の企業に入りたいのか、どういう仕事をしたいのか、自分で全くピンときませんでした。

2年生の間、自分がいったい何に興味があるのか悶々と考え続けました。そんな中、法学部に入ったきっかけの一つであった法律家への憧れ、不況が続く中でよく耳にしていた“手に職”と

いう言葉が私を動かしました。「よし、勉強しよう」と。色々な資格を調べる中で出会ったのがこの司法書士でした。大学3年春から勉強し始め、合格まで2年かかりました。本当にこの2年間はよく勉強したと思います。もう一度やれといわれても無理です。

司法書士は、さまざまな困難に遭遇した人に対して法律の知識を使って問題解決したり、アドバイスをするのが仕事です。その相手は人であり、依頼内容はさまざまです。知識のなさ、経験のなさを痛感することも度々で、毎日のように壁にぶつかっている気がします。一人の有資格者として扱われることで、責任の重さやプレッシャーを感じ苦しいときもありませんが、その分やりがいのある仕事です。

将来の夢が見つからず悩んでいるという方、大学時代はゆっくりと自分の将来について考えることのできる時期です。ちょっとした憧れとかでいいんです。そこからちょっぴり踏み出して



調べてみてください。世の中には本当にたくさんの知らない職業があふれています。意外とすんなり見つかるかもしれませんよ、自分のやりたいこと。

## International Friendship

### 第9回聖南祭実行委員会に留学生が参加!

第9回聖南祭を企画運営している聖南祭実行委員会に今年初めて留学生(2名)が実行委員として加わった。参加している留学生と留学生を誘った日本人学生の話を紹介しよう。



総合政策学部総合政策学科 1年 ガウンビン(韓国)

私はいつも同じでつまらない毎日から抜け出たかった。そんなとき、私は大学で日本語や日本文化を教えてくれるボランティア活動をしている日本人の友達に「聖南祭実行委員会」というサークルを紹介してもらいました。数日後、好奇心と不安な気持ちを抱いて、初めて活動に参加しました。先輩たちはとても親切に説明してくださり、私はとても嬉しく思い、それがきっかけで、このサークルに入ることになりました。

サークルでは模擬店企画部になりました。ある日、中国の留学生が模擬店の企画申請書を実行委員会に渡せなくて困っていたので、代わりに、私が実行委員会の先輩に渡してあげました。そのときは私も聖南祭に役に立つことができていると感じ、嬉しかったです。

このサークルに入って、私は新しく見つけたことがいくつかあります。それは、日本人は私が思っていたより外国人にも気を遣ってくれることと、おもしろい人が多いことです。

そしてとてもありがたいと思っていることがあります。それは、まだ日本語が上手ではない私に、みんながわかりやすく話しかけてくれることです。

私は「聖南祭実行委員会」に入ってよかったし、これからも活動を頑張るつもりです。

総合政策学部総合政策学科 1年 植生理恵

今年の春、私は日本語チューターとして留学生と接する機会があり、その際に「どこかクラブに入らないの?」と尋ねたところ、彼女たちは「入りたいけど、何に入ったらいいかわからない」「留学生だからついていけないんじゃないかな」と悩んでいました。そこで、「私もいるし、聖南祭実行委員会に入りなよ!」と韓国からの留学生2人を誘い、活動9年目にして初めて、留学生が聖南祭実行委員会のメンバーとして活動することになりました。

留学生たちと一緒に活動し始めてから約3ヶ月、留学生たちはわからないことだらけの新しい環境の中で積極的に活動しています。留学生と一緒にいると、私たち日本人もさまざまなことを彼女たちから学び、考え、いい刺激になっていると感じます。

先日、ステージで行うビンゴゲームの企画会議があり、留学生がビンゴカードにある工夫をするという提案をしたところ、採用されることになりました。彼女たちはとても喜んでいました。また活動に誘った私も彼女たちが実行委員の一員として認められていることを感じ、嬉しかったです。

今年の聖南祭は、10月31日と11月1日に行われます。留学生の考えた「ビンゴカードの秘密」が何なのか、ぜひ確かめに来てください。



# 2008年度決算・2009年度予算

## 教育・研究環境整備と財政基盤の強化に向けて

2008年度は、2007年度と同様に既存施設、特に名古屋キャンパス施設の改修に重点を置いて予算執行を行った。ここ数年続いてきた大規模施設整備による財政面での都合により、先送りとなっていた計画を実施するためである。具体的には、防水工事、空調設備更新工事、情報機器・視聴覚機器の整備等である。いずれも教育研究環境の改善を目的とし

て実施した。また、老朽化した設備を更新するための財源確保のため、積立金の増額を行った。

本学では、「NANZAN bulletin」「南山大学概要」「南山大学Webページ」において財政状況を公開し、透明性確保に努めてきた。今回は、2008年度決算および2009年度予算について、財務諸表とともに説明させていただく。

### 2008年度決算について

第1表は資金収支計算書で、1年間のすべての資金の流れを記録している。前年度繰越支払資金と次年度繰越支払資金の差額が、2008年度本学の諸活動の結果としての資金の増減である。2008年度は1,853,204千円の資金増加であった。資金収支計算書は、資金の動きがすべて収入・支出として計上されるので、繰越支払資金増加は自己資金増加に直結しない。しかし、本学では借入金の増加がないので、大半が自己資金の増加に結びついている。

資金増加要因としては、収入面では、学生確保が順調であったことが大きい。本学は収入の大半を学納金収入が占めているからである。経常費補助金を始めとする補助金収入も、微減ではあったが、前年並みの額を獲得できた。補助金収入は、学納金収入と並ぶ収入の柱であり、獲得に向けて全学的に取り組んだ成果が収入額として表れた。

支出面では、経費節減につとめたことにより主要科目である人件費、教育研究経費、管理経費とも、予算額を下回る決算額となった。

第2表は、消費収支計算書である。純資産の増減をもたらす収入・支出のみが計上されること、資金の移動を伴わない収入・支出も計上されること等が資金収支計算書と異なる。純資産の増加をもたらす収入（帰属収入）から、基本金組入額（設備投資、積立金、各種基金等に充当する費用）を控除した額を消費収入とし、これと純資産の減少をもたらす消費支出との間の均衡状況を表している。2008年度は、982,552千円の収入超過決算（＝純資産の増加）となっており、これが1年間で増加した純資産の額となる。増加の要因は、資金収支計算書における支払資金の増減要因とほぼ同様である。支払資金の増加額と純資産の増加額の差異については、実質的には減価償却額（2008年度は約1,190,000千円）が大半である。減価償却額は資金の移動を伴わない支出であり、資金は内部留保され、支

払資金は減少しない。

学納金と補助金が収入の大きな柱であることは前述したが、消費収支計算書ではこれらが帰属収入に占める割合をそれぞれ学納金比率、補助金比率で表す。2008年度は学納金比率76.1%、補助金比率9.0%となっており、この2科目で帰属収入の約85%を占めている。

第3表は、貸借対照表であり、2008年度末時点での本学の資産状況を表すとともに、2007年度末時点との対比を行っている。資産の部を見ると、有形固定資産が813,989千円減少している。2008年度も機器等の取得による教育研究環境整備や、各種修繕工事を実施したが、執行金額や工事形態の理由により資産化せず、貸借対照表の有形固定資産に反映されないものが多いからである。結果的に、減価償却計算により有形固定資産額が減少しているが、施設設備が実質的に減少しているわけではない。具体的には、2008年度減価償却額は1,190,521千円となっており、有形固定資産の減少額を上回っている。その他の固定資産の増加は、第2号基本金（将来計画のための積立金）の特定預金として管理している特定資産の増加である。2008年度は将来計画を見据え、組入額を2007年度に比べ300,000千円増額した。

負債の部では、借入金が、長期借入金、返済期限が1年以内の長期借入金ともゼロとなった。唯一残っていた1989年度J棟建設時借入金の返済が2008年度で終了したからである。

学校法人では基本金と消費収支差額を合算したものを自己資金としている。これが総資産に占める割合で財務状況が把握できるが、本学の場合は2008年度末時点で90%を超えており、健全な財務状況であると言える。繰越消費支出超過額も2008年度末で892,597千円となっており、2000年度以降の将来構想実施により最大となった2003年度（7,602,835千円）の12%まで縮小した。

### 2009年度予算について

2009年度は、退職給与引当金の計算方法を変更したことにより、過年度調整分として277,776千円の追加繰入が必要となる。これまで以上に必要性を精査して事業を実行していかなければならない。また、2011年度に南山短期大学を短期大学部に名称変更する計画に合わせて新校舎の建設に着手する。その他の主な事業としては、以下を予定している。

#### 1.名古屋キャンパス中央監視システム取替工事

2008年度に引き続き補助金を受けて実施

する。キャンパス全体の電気設備、空調機器等を集中監視・管理することにより、光熱水費を削減することが可能となる。

#### 2.LL教室改修

現在4教室に設置されているLL設備のうち、2教室分をマルチメディアシステムに更新する。

#### 3.次期事務システム構築

学生サービスの向上と業務効率化を目指し、新たな事務システムを構築する。2008年度からの継続事業であり、2010年度の稼働を予定している。

本学では、私立大学としての公共性と説明責任を認識し、従来から財務改善に努めるとともに、財務状況を広く公表してきた。今後もこの方

針を維持していく所存であり、ご理解、ご支援を賜りたい。

（大学事務部長 蒔田 一）

第1表 2008年度 資金収支計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生納付金収入 (授業料)	10,598,338 (7,339,491)	10,585,468 (7,337,660)	人件費支出 (教員人件費)	6,544,820 (4,494,907)	6,333,407 (4,393,039)
(入学金)	(1,184,990)	(1,185,630)	(職員人件費)	(1,675,413)	(1,577,526)
(実験実習料)	(87,174)	(79,832)	(退職金)	(374,500)	(362,842)
(教育実習料)	(3,693)	(3,680)	教育研究経費支出	3,029,970	2,777,996
(施設設備費)	(1,982,990)	(1,978,666)	管理経費支出	837,918	810,853
手数料収入	807,524	754,072	借入金等利息支出	3,015	3,011
(入学検定料)	(697,506)	(643,640)	借入金等返済支出	33,330	33,330
(その他の手数料)	(110,018)	(110,432)	施設関係支出	127,648	127,352
寄付金収入	248,977	253,130	設備関係支出	233,334	244,743
補助金収入	1,186,781	1,248,198	資産運用支出	1,000,000	1,000,000
資産運用収入	276,801	556,446	その他の支出	2,079,970	2,078,505
資産売却収入	100	52	法人本部費配賦額	593,410	532,366
事業収入	220,240	205,152	資金支出調整勘定	△ 283,759	△ 314,572
雑収入	292,182	293,307	次年度繰越支払資金	21,637,638	22,388,721
前受金収入	2,254,183	2,194,636			
その他の収入	2,014,516	2,078,201			
資金収入調整勘定	△ 2,597,865	△ 2,688,467			
前年度繰越支払資金	20,535,517	20,535,517			
<b>収入の部合計</b>	<b>35,837,294</b>	<b>36,015,712</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>35,837,294</b>	<b>36,015,712</b>

(注) 予算額は補正予算額。

第2表 2008年度 消費収支計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位:千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生納付金	10,598,338	10,585,468	人件費	6,475,422	6,287,375
手数料	807,524	754,072	教育研究経費	4,074,570	3,821,906
寄付金	249,104	259,782	(内、減価償却額)	(1,044,600)	(1,043,637)
補助金	1,186,781	1,248,198	管理経費	984,918	957,681
資産運用収入	276,801	556,446	(内、減価償却額)	(147,000)	(146,884)
資産売却差額	1	1	借入金等利息	3,015	3,011
事業収入	220,240	205,152	資産処分差額	6,794	8,032
雑収入	292,644	293,986	徴収不能引当金繰入額	0	0
帰属収入合計	13,631,433	13,903,105	法人本部費配賦額	593,410	532,366
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 1,095,818</b>	<b>△ 1,310,182</b>			
<b>消費収入の部合計</b>	<b>12,535,615</b>	<b>12,592,923</b>	<b>消費支出の部合計</b>	<b>12,138,129</b>	<b>11,610,371</b>
			当年度消費収入(△支出)超過額	397,486	982,552
			前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 1,875,149	△ 1,875,149
			基本金取崩額	0	0
			翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 1,477,663	△ 892,597

(注) 予算額は補正予算額。

第3表 貸借対照表 (2009年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	2008年度末	2007年度末	増減	科目	2008年度末	2007年度末	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
固定資産	24,771,259	24,663,806	107,453	固定負債	1,232,669	1,274,400	△ 41,731
有形固定資産	22,146,038	22,960,027	△ 813,989	長期借入金	0	0	0
土地	1,380,885	1,380,885	0	退職給付引当金	1,016,697	1,062,729	△ 46,032
建物	13,714,773	14,326,880	△ 612,107	長期預り金	215,972	211,671	4,301
構築物	807,397	922,677	△ 115,280	流動負債	2,820,148	3,006,731	△ 186,583
教育研究用機器備品	466,774	652,161	△ 185,387	返済期限が1年以内の長期借入金	0	33,330	△ 33,330
その他の機器備品	30,516	28,679	1,837	未払金	243,710	212,898	30,812
図書	5,677,351	5,569,940	107,411	前受金	2,194,635	2,415,503	△ 220,868
車両	68,342	78,805	△ 10,463	預り金	381,803	345,000	36,803
建設仮勘定	0	0	0	<b>負債の部合計</b>	<b>4,052,817</b>	<b>4,281,131</b>	<b>△ 228,314</b>
その他の固定資産	2,625,221	1,703,779	921,442	<b>基本金の部</b>			
電話加入権	5,162	5,162	0	第1号基本金	35,937,862	35,703,244	234,618
施設利用権	294	6,534	△ 6,240	第2号基本金	2,132,670	1,132,670	1,000,000
長期貸付金	338,705	411,023	△ 72,318	第3号基本金	5,511,768	5,458,704	53,064
差入保証金	8,390	8,390	0	第4号基本金	777,100	754,600	22,500
退職給付引当特定資産	140,000	140,000	0	<b>基本金の部合計</b>	<b>44,359,400</b>	<b>43,049,218</b>	<b>1,310,182</b>
南山大学名古屋C施設整備備資金	1,432,670	732,670	700,000	<b>消費収支差額の部</b>			
南山大学瀬戸C施設整備備資金	700,000	400,000	300,000	翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 892,597	△ 1,875,149	982,552
<b>流動資産</b>	<b>22,748,361</b>	<b>20,791,394</b>	<b>1,956,967</b>	<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 892,597</b>	<b>△ 1,875,149</b>	<b>982,552</b>
現金預金	22,388,721	20,535,517	1,853,204				
未収入金	272,963	182,366	90,597				
短期貸付金	0	0	0				
立替金	150	150	0				
前払金	83,874	70,862	13,012				
貯蔵品	2,653	2,499	154				
<b>資産の部合計</b>	<b>47,519,620</b>	<b>45,455,200</b>	<b>2,064,420</b>	<b>負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計</b>	<b>47,519,620</b>	<b>45,455,200</b>	<b>2,064,420</b>

(注記)

- 重要な会計方針 (1)引当金の計上基準 徴収不能引当金・長期貸付金の徴収不能に備えるため、徴収不能実績率に基づき、徴収不能見込額を計上している。退職給付引当金・退職金の支給に備えるため、期末要支給額 4,638,036,300円を基に、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
- その他の重要な会計方針 有価証券の評価基準及び評価方法・移動平均法に基づく原価法である。所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法…リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- 減価償却額の累計額の合計額 13,784,952,246円
- その他会社および経営の状況を正確に判断するための必要な事項 (1)偶発債務 下記について債務保証を行っている。南山大学学生(卒業生)の奨学金銀行ローン 407,053,654円 (2)所有権移転外ファイナンス・リース取引 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高	リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	47,212,200円	23,690,700円	車両	10,798,200円	5,193,300円
ソフトウェア	4,510,800円	2,727,720円			

#### 第4表 財務比率

##### 消費収支関連

比率	計算式	南山大学			他大学	評価
		2006年度	2007年度	2008年度	2007年度	
人件費比率	人件費／帰属収入	43.0%	43.2%	45.2%	50.1%	↓
人件費依存率	人件費／学生納入金	58.5%	59.7%	59.4%	62.7%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	24.9%	25.1%	27.5%	29.8%	↑
管理経費比率	管理経費／帰属収入	6.7%	6.5%	6.9%	7.7%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息／帰属収入	0.1%	0.1%	0.1%	0.5%	↓
学生生徒等納付金比率	学生納入金／帰属収入	73.5%	72.4%	76.1%	80.0%	↑
補助金比率	補助金／帰属収入	9.1%	8.9%	9.0%	8.2%	↑
基本金組入率	基本金組入額／帰属収入	6.5%	6.2%	9.4%	12.1%	↑
減価償却費比率	減価償却額／消費支出	9.1%	9.6%	10.3%	10.8%	～

##### 帰属収入に対する比率

比率	南山大学(2008年度)	他大学文他複数学部(2007年度)
人件費	45.2%	50.1%
教育研究経費	27.5%	29.8%
管理経費	6.9%	7.7%
その他の消費支出額	3.9%	3.0%
基本金組入額+消費収支差額	16.5%	9.3%

##### 貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2007年度	2008年度	2007年度	
自己資金構成比率	自己資金／総資金	90.6%	91.5%	87.2%	↑
消費収支差額構成比率	消費収支差額／総資金	△4.1%	△1.9%	△4.6%	↑
流動比率(※)	流動資産／流動負債	320.5%	611.2%	251.2%	↑
減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	35.4%	47.7%	41.8%	～
総負債比率	総負債／総資産	9.4%	8.5%	12.8%	↓
負債比率	総負債／自己資金	10.4%	9.3%	14.7%	↓

(※) 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

(注) 他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団平成20年度版「今日の私学財政」より、消費収支関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人の法人全体の平均をそれぞれ掲載した。評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

自己資金=基本金+消費収支差額 総資金=負債+基本金+消費収支差額 総負債=固定負債+流動負債

#### 第5表 2009年度 資金収支予算書 (2009年4月1日から2010年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
学生納付金収入 (授業料)	10,671,827 (7,404,857)	人件費支出 (教員人件費)	6,646,146 (4,623,162)
(入学金)	(1,171,570)	(職員人件費)	(1,663,984)
(実験実習料)	(92,645)	(退職金)	(359,000)
(教育実習料)	(3,813)	教育研究経費支出	3,042,880
(施設設備費)	(1,998,942)	管理経費支出	804,759
手数料収入	809,170	借入金等利息支出	1,398
(入学検定料)	(700,451)	借入金等返済支出	0
(その他の手数料)	(108,719)	施設関係支出	78,396
寄付金収入	197,054	設備関係支出	288,278
補助金収入	1,170,997	資産運用支出	1,000,000
資産運用収入	192,430	その他の支出	2,073,802
資産売却収入	100	[予備費]	27,026
事業収入	193,392	資金支出調整勘定	△ 329,043
雑収入	276,807	法人本部費配賦額	523,497
前受金収入	2,252,873	次年度繰越支払資金	23,539,739
その他の収入	1,979,294		
資金収入調整勘定	△ 2,435,787		
前年度繰越支払資金	22,388,721		
<b>収入の部合計</b>	<b>37,696,878</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>37,696,878</b>

#### 第6表 2009年度 消費収支予算書 (2009年4月1日から2010年3月31日まで)

(単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
学生納付金	10,671,827	人件費	6,783,452
手数料	809,170	教育研究経費	3,884,080
寄付金	198,054	(内、減価償却額)	(841,200)
補助金	1,170,997	管理経費	943,559
資産運用収入	192,430	(内、減価償却額)	(138,800)
資産売却差額	1	借入金等利息	1,398
事業収入	193,392	資産処分差額	5,301
雑収入	276,836	徴収不能引当金繰入額	0
帰属収入合計	13,512,707	[予備費]	27,026
基本金組入額合計	△ 1,255,763	法人本部費配賦額	523,497
<b>消費収入の部合計</b>	<b>12,256,944</b>	<b>消費支出の部合計</b>	<b>12,168,313</b>
		当年度消費収入(△支出)超過額	88,631
		前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 892,597
		翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 803,966

(注) 予算額は修正予算額

# Special events

7.5

## 星空人類学 in 南山

7月5日、人類学博物館および名古屋キャンパス隣接のロゴスセンターにおいて、「星空人類学 in 南山」が開催された。このイベントは、小学校高学年以上を対象に企画されたもので、エアドーム型の移動式プラネタリウムによる星空の投影、日本古代、ミクロネシア、マヤ、インカなどの星座伝説や関連民俗の企画展などが行われた。解説や機械操作は人文学部人類文化学科の学生によって行われ、参加者は人類と星との関わり方の歴史について楽しく学んだ。



7.15

## 留学体験報告会

7月15日、名古屋キャンパスにおいて、派遣留学帰国生による留学体験報告会が開催された。留学体験者により、留学先大学の授業やキャンパスの様子、現地での生活などについて、写真を交えながら説明が行われた。これから留学を考えている学生にとっては、体験者の生の声が聞ける貴重な機会となった。

### 2009年度秋学期留学関連スケジュール

10月6日～7日	2010年秋交換・推薦・ISEP留学希望者応募書類受付
11月9日～	2010年春認定留学希望者学内留学手続書類配布
11月23日～24日	2010年春認定留学希望者学内留学手続書類受付



7.19

## 2009年度オープンキャンパス

2009年度オープンキャンパスが、7月19日に名古屋・瀬戸両キャンパスで開催された。無料ランチや情報理工学部の実験を体感できるツアーなどの特別企画が実施された瀬戸キャンパスには、昨年度の来場者数を大きく上回る516名、60講座以上の模擬授業が開講された名古屋キャンパスには5221名の参加者があった。南山大学のキャンパスで教員や在学生などと接することで、大学の良さを実感していただけただろう。



7.25-28

## 名古屋アメリカ研究夏期セミナー(NASSS 2009)

名古屋アメリカ研究夏期セミナー(Nagoya American Studies Summer Seminars:通称NASSS)が、7月25日から28日にかけて、名古屋キャンパスおよび南山学園研修センターを会場として開催された。3年目を迎えた今年も、専門家会議(初日は一般公開)に加えて国内外大学院生が集う国際大学院生セミナーが開催され、日米をはじめアジア・太平洋地域で地域研究にたずさわる大学院生・若手研究者たちによる活発な討論が行われた。



7.26

## 朝日新聞・メ〜テレ環境7大学集中公開講座2009「竹下景子 with 南山大学」

2010年名古屋市でのCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)開催決定を機に、7月26日、名古屋キャンパスに南山高等学校・中学校女子部出身の女優・竹下景子氏を迎え、「森の惑星で考える」と題した講演会が行われた。竹下氏は「日本の土地の約7割が森林、私たち人類を含むこの星の生命の生活は森に支えられています。我々一人ひとりができることから、はじめましょう。」とメッセージを送った。



8.5

## 2009年度総合政策学部秋学期入学者卒業式

総合政策学部秋学期入学者の2009年度卒業式が8月5日、瀬戸キャンパスにおいて挙行政され、アジアの5つの国と地域(中国・ベトナム・タイ・ミャンマー・台湾)からの留学生6名を送り出した。



9.3

## 2009年外国人留学生別科秋学期入学式

9月3日、名古屋キャンパスにおいて、2009年外国人留学生別科秋学期入学式が挙行政され、世界20の国と地域から146名(内、継続9名)の留学生を迎えた。留学生たちは、入学式の後、オリエンテーションを受け、南山大学における留学生生活をスタートした。





# Special events

10.10

## 野外宗教劇「受難」

10月10日(雨天延期10月17日)、名古屋キャンパスのパッセ・スクエアを舞台に、今年で43回目を迎える野外宗教劇「受難」が上演される。野外宗教劇「受難」は、カトリック大学である本学を代表する伝統行事であり、出演はもちろんのこと、演出、音響、衣装、メイクといった裏方作業もすべて学生たちの手で行われる。野外のステージで壮大なスケールで行われる宗教劇をぜひご覧いただきたい。



10.12

## 1日体験入学会

10月12日に、「1日体験入学会」が開催される。オープンキャンパスとの違いは、この日が授業日であるという点。通常授業の一部が来場者に公開され、実際の大学の授業を受講できるなど、普段の大学の様子を体感することができる。

他にも学部・学科の教育内容や特色を紹介する説明会や、在学生によるキャンパスツアーなどが実施される。多くの方のご来場をお待ちしています。



10.31-11.3

## NANZAN FESTIVAL 2009 第9回聖南祭

10月31日から11月3日の4日間、名古屋キャンパスの大学祭「NANZAN FESTIVAL 2009」が開催される。今年は「HANABI」をテーマに、ステージ企画、メインストリート企画など連日多種多様な企画が実施される予定だ。また、これまで別日程で開催されてきた瀬戸キャンパスの大学祭「聖南祭」



も同日開催となり、昨年以上の盛り上がりが見込まれる。年に一度の南山のお祭りをぜひ一緒に楽しんでいただきたい。

### 開催日程

10月31日(土)～11月3日(火・祝)  
NANZAN FESTIVAL 2009～HANABI～(名古屋キャンパス)  
10月31日(土)～11月1日(日)  
第9回聖南祭～あおぞら～(瀬戸キャンパス)

11.22

## 第2回インドネシア語スピーチコンテスト

11月22日、名古屋キャンパスにおいて、第2回インドネシア語スピーチコンテストが開催される。このコンテストは、インドネシアと日本の相互理解、友好関係の一層の進展に寄与することを目的として、本学外国語学部とインドネシア学生会名古屋支部の共催で開催されるもので、インドネシア語を母語としない人であればどなたでも出場できる。日頃の勉強の成果をぜひ発表していただきたい。

※詳細については、下記Webページをご覧ください。  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/GAIKOKUGO/Asia/speechcon.pdf>



## 就職支援・キャリアサポートプログラム(秋)

### キャリアサポートプログラム(予定)

9月～11月	キャリア入門B～キャリアを考えよう!～(学部と共催により実施)
10月7日(水)	ブラッシュアップセミナー【ビジネスマナー1】(名古屋・瀬戸キャンパス)(7/8から振替) 身だしなみ講座(名古屋キャンパス)(7/8から振替)
10月14日(水)	自分発見! 講演会 in Seto(講師/作家 鈴木光司氏) ※名古屋キャンパスよりシャトルバスを運行(14:30発キャンパス間シャトルバス)
10月21日(水)	一般常識テスト/職務適性テスト
11月25日(水)・12月2日(水)	働く現場見学ツアー

### 就職支援プログラム(予定)

9月末～11月(毎週水曜)	業界・職種研究会「情報系」(瀬戸キャンパス)
10月～11月(原則月・水・金)	業界・職種研究会(名古屋キャンパス)
10月7日(水)	就職講座6「志望動機」(名古屋キャンパス)
10月10日(土)・17日(土)	SPI模試(名古屋キャンパス) ※有料
10月14日(水)	就職講座6「志望動機」(瀬戸キャンパス) 就職講座7「エントリーシートの書き方」(名古屋キャンパス)
10月21日(水)	就職講座7「エントリーシートの書き方」(瀬戸キャンパス) 就職講座8「ビジネスマナー」(名古屋キャンパス)
10月28日(水)	就職講座8「ビジネスマナー」(瀬戸キャンパス) 「ワーク・ライフ・バランス・フォーラム」(名古屋キャンパス) ※あいち子育て支援・働き方の見直し推進協議会との共催
11月5日(木)	SPIフォローアップ講座(名古屋・瀬戸キャンパス)※SPI模試(有料)受験者のみ対象
12月9日(水)	第3回就職ガイダンス(瀬戸キャンパス)
12月16日(水)	第3回就職ガイダンス(名古屋キャンパス)

日程は変更の可能性があります。キャリア支援室Webページを随時確認してください。

## ◆ 後援会定例評議員会・総会

南山大学在学生の父母などにより構成される南山大学後援会の定例評議員会・総会が6月27日、理事・評議員105名の出席のもと、ホテル名古屋ガーデンパレスで開催された。

会議では、1)2008年度事業報告および決算報告 2)役員を選任 3)2009年度事業計画および予算について決議され、大学との共催による第37回「父母の集い」が9月26日名古屋・瀬戸両キャンパスで実施されることが決定した。

また大学より、学生生活の近況、2008年度就職状況、就職支援プログラム、キャリアサポートプログラムなどについて報告された。



後援会Webページ  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>

後援会貸借対照表 2009年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	131,698,834	課外活動援助基金	85,414,207
		事故対策基金	40,131,344
		次期繰越金	6,153,283
合計	131,698,834	合計	131,698,834

## ◆ 友の会評議員会・総会

南山大学を支援する地域社会の一般および法人会員により組織される南山大学友の会の評議員会・総会が7月22日、ホテル名古屋ガーデンパレスで開催された。

会議では、1)2008年度事業報告および決算報告について 2)役員の変更について 3)2009年度事業計画および予算について決議された。

友の会は、外国人留学生・派遣留学生・学部生への奨学金給付などを通じ本学の教育活動に対する支援を続けており、議事終了後、安井義博会長より、今年度友の会奨学金の給付を受ける外国人留学生等に対し、奨学生採用通知書が授与された。

## ◆ 平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」(文部科学省)に採択

本学ビジネス研究科が青山学院大学および関西学院大学と連携して申請していた「大学間連携によるマネジメント教育プログラムの質の共有化と

後援会収支計算書および予算書 (単位:円)

科目	2008年度決算	2009年度予算
収入の部		
前期繰越金	3,443,371	6,153,283
入会金	2,262,000	2,346,000
会費	180,645,000	182,100,000
預金利息	93,108	90,000
基金運用利息	1,190,328	1,240,000
合計	187,633,807	191,929,283
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	168,000,000	176,000,000
留学生支援活動援助費	(80,868,000)	(90,000,000)
教育研究図書援助費	(52,132,000)	(46,000,000)
広報活動援助費	(10,000,000)	(10,000,000)
課外活動援助費	(20,000,000)	(23,000,000)
就職指導活動費	(5,000,000)	(7,000,000)
後援会活動費	8,290,196	8,788,000
父母の集い	(1,486,573)	(1,618,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(4,890,841)	(5,110,000)
事務費	(712,782)	(860,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
課外活動援助基金積立利息	792,988	840,000
事故対策基金積立利息	397,340	400,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	6,153,283	1,501,283
合計	187,633,807	191,929,283

《基金内訳》

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	80,621,219	前期繰越金	39,734,004
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
運用利息	792,988	運用利息	397,340
合計	85,414,207	合計	40,131,344

また、本年度をもって副会長を退任される加藤千磨氏(顧問に就任)、監事を退任される野島東太郎氏に対し、カルマノ学長より記念品等が贈呈された。

南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費] 一般会員 1口 10,000円 法人会員 1口 30,000円  
 ※何口でもお申込みいただけます。

友の会Webページ  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>

## ◆ 平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム」(文部科学省)に採択

本学学生部で申請していた「関わりあい、教えあい、学生相互の支援活動と協働活動の創生」が、大

相互評価システムの開発」が、大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム(文部科学省)に選定された。

学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム(文部科学省)に選定された。

◆ 学位 畑山知子 講師 人文学部心理人間学科  
 博士(人間環境学)九州大学  
 2009年4月28日付

大井由紀 講師 外国語学部英米学科  
 博士(社会学)一橋大学  
 2009年7月8日付



# 南山大学

発行 学長室  
 〒466-8673 名古屋市中区山崎町18  
 Phone: 052-832-3113(直通)  
 E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

## 寄付者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

南山大学同窓会様

山口光大様 安部 一典様  
 高木隆行様 藤田宏己様  
 竹田繁夫様 木村宏恒様(絵画)  
 河合信行様 本村英二様  
 上野直人様 市 郁夫様